

## 【丸亀市】 校務DX計画

### 1 校務DXを推進する上での現状と課題

「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果、現状においては、H30年から導入している統合型校務支援システムの積極的な活用が進み、通知表等の帳票打出しやメールでの連絡等により業務の効率化が図られている。また、整備しているクラウド環境についても有効利用されており、学校以外からのアクセスも可能な体制を構築しているため、働き方改革につながっている。教員研修については、対面形式での実施が中心であるが、オンライン等を利用した形式についても実施しており、今後も実施時期や参加人数に応じて対応していく予定である。

### 2 校務DXを推進するための課題解決策

省略できる押印を廃止するために必要な規則や規程の改正を進めている。また、校内における業務のペーパーレス化を進めるため、職員会議等の配布物を控え、統合型校務支援システムの掲示板機能の活用を推進している。また、市教育委員会から各学校への通知等についてもメールでの送付等によりペーパーレス化を進めている。

### 3 次世代校務DX環境の整備について

文科省が示す「次世代校務DX環境」（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務DXの在り方）を目指し、現在、統合型校務支援システムの契約期間中ではあるが、これからの方向性は重要であるため、今後についても香川県教育委員会や他市町教育委員会で協議、検討を深めたい。